

『農業問題こん談会』開かれる

市農協と市執行部

小笠原市政になつてはじめての市農協と市の『農業問題こん談会』が七月二十六日午後、市農協会館で行われました。

この話し合いは、ことしの春頃から市農協より申し込まれ、市長の日程などでのびていたもので、市農協からは島井組合長や理事など約二十五名、市からは市長、国沢助役、吉永産業経済課長、議会からは橋本議長が出席、議題は別に決まらずに話し合いに入りました。

席上、市長は「私は農業については素人です。したがってこの種の会はずっとひんぱんに行われる方がよい。そうして農協と市の距離を近づける努力をしなければならぬ」と思います。理想的な農業行政を行うためには、市の執行部の判断だけではとうていできるものではないと述べ、農協、農家のみなさんとよく話し合つて進めていかなくてはと考えています。本市には、空港や領石インターチェンジなど各種の大きな計画がくまこまれていますが、これらはどれも農業と直接はなすことのできないものばかりです。ぜひみなさんのお教をいただいて、計画と農業が両立するようにしたいと思ひます。

まず、国や県にもいろいろ配慮をいただいています。実際に市民の意向にどの程度近づいてくれるかについては疑問を持たざるを得ませんので、市民のみなさんによく考えていただいたり監視していただくと思います。とあいさつ。

また組合長からも「今日を契機にできるだけひんぱんに話し合いをもつよう願ひしたい。農業の現況は混乱に近い。農産物の価格



や、米の主食としての位置づけなど、私たち関係団体は総合的、長期的な農業のあり方―国の農政の確立を中央段階で交渉しています。同時に生産者という立場から各農協単位で話し合つてもいいです。農業行政の確立、生産者対策のほかに地域にあった農業のしくみの確立―県や市の農政の確立が急務です。このためにはどうしても市と農協の両車がかみあわなければなりません。その意味から

もこの会は意義深いと思います。と話しあい」を評價、質疑に入りました。

市側からは、①優良農地をどう守るか。②農業基盤の整備③地域にあった農業経営とは、が当面の課題であろうと発言。農協からは市農協関係予算や空港周辺農政対策事業へ対する市の補助要請、市農協からの市借金の返済は、農協運営の観点から慎重に頼むなど、陳情的なものが多くありました。

残念ながら「農業の根柢」にかかわる討議が少なかった。市長は「農協の経営全体が消極的なようだ。自由競争のテンポに

経営がついていけないということがあるのではない。農家も農協も流通面でふり廻されているのではないか。」と指摘。市の農業の底力をどう思うかという質問には、「私は心配はしていません。南国市の農業が成たなくなればほかの産業は全部ダメになると思ひます。農業の形態は兼業の形で将来成りたつていくでしょう。私は無公害企業は少し入つてきててもいいのではないかと考えています。即ち、農・工両立、田園工業都市に進んで、効率のよい、生産性の高い農業経営をめざすべきでしょう。」と答えました。

8時から……自主商品、タイムサービス、セリ市あり。

◎その他、ジャンケン大会や金魚すくい、など。

■土曜市組合では、市民のみなさんと一体となった身近に感じていただける「市づくり」に機会あるごとに取り組んでいます。当日は多数のみなさんがおいでのうえショッピングと催しで楽しい夏の夜をおすごしください。なお、当日は混雑が予想されますので、車の乗入れはご遠慮ください。

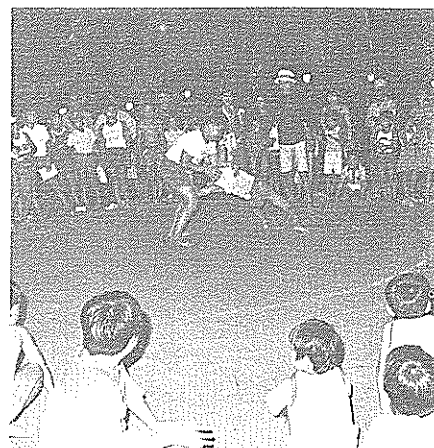
『夏まつり土曜市』を開催
多数ご来場ください

土曜市組合による、市制二十周年記念「夏まつり土曜市」が、次のように開かれます。

◎とき・8月18日(土)
午前8時～午後9時
◎ところ・土曜市会場(大池)
◎当日の催し――
①テレビ高知「歌って走って」キャラバンバン公開録画(本番午後6時から)
②商工会、後免町婦人部・子供会による踊り(午後6時から予定)……飛入歓迎
◎組合員による大安全(午後

「子供みこし」登場にわく

久しぶりに復活した 久礼田態野神社夏まつり



すもう、みこし、夜店 久礼田地区の「夏まつり」が十数年ぶりに復活しました。

昔の久礼田夏まつりはなかなか盛大で、なかでもすもう大会は市内はもろろ、遠く県内西東から大勢の人たちが参加するほどでしたが、昭和三十三年ころから息切れ状態……。

え、土俵のまわりはぎつしりの人。女の子の参加もあり、元気な子どもたちに見物人から盛んな声援が送られていました。子どもたちも賞品のノートやエンピツをもらって大喜び。

八時すぎからは「カラオケ大会」がはじまり、二十数人が自慢のノドを披露しました。境内は身動きできないほどの黒山の人だかり。久しぶりの「祭り」は夜遅くまで続けられました。

また翌日二十五日の午後は、待望の「子どもみこし」の登場。このみこしは地区の人たちが出し合つた資金など約二百万円で作新しく購入したもの。

みこしなみこしは、約二十五人の子どもたちの手で久礼田街道をワッショイ、ワッショイ。道の両側にはたくさんの人たちが一目見ようと集まり、夏まつりの「復活」を地区ぐるみで喜んでいました。

「緑の冒険」を満喫

南子連中央大会開かれる

天候不順のため一週間延期されていた、南国市子供連合会(公文書会長)主催の中央大会「グリーンアドベンチャー」が、好天に恵まれた七月二十三日(日)午前九時から、土佐山田町の高知県林業試験場で開催されました。

南子連の主要行事の一つである「グリーンアドベンチャー」は、会場内のコースを回りながら指定された樹木の名前をあてていくゲーム。

当日は猛暑のなか、南国市内の



作曲をお願いします

「土曜市の歌」を作成

土曜市の発展を願ひ、「土曜市の歌」を作成しようと思ひます。どなたか次の詩に、作曲をお願いします。作詩者は榎谷四郎氏(折年)です。

この歌は、市制二十周年を記念して作成するもので、作曲は9月30日までにお願いします。

◇連絡先は……土曜市会場(土曜日のみ) ☎3976 事務所(理事長中村宅) ☎3479まで。

《南国市土曜市の歌》

一、ここはどこかと尋ねてみれば
四国山脈つき山に
太平洋を池として
香長平野を庭として
天下御免の土曜市

二、一寸のぞいてみやしゃんせ
土佐の風土をそのままに
並べた品が呼びかける
他方ないぜよこの風情
田園都市の土曜市

三、そぞろ歩きの中
売り買人の土佐なまり
海山野里の幸ならべ
心休まるこの市は
天下後免の土曜市

◎後免野田小

十名が参加。南子連会長や県子連会長の福岡弘幸さんらの励ましの言葉を受けて始まつた競技は、Aコース・Bコースに分かれ内容もバラエティーに富み、参加者らは広い会場を汗だくになりながら、図鑑などをひろげ真剣なまなざしで樹木の名前を深していました。

どのチームもチームワークよく、和気あいあいのなかに「緑の冒険」を満喫していました。

各校区別の成績は次のとおり。

①大篠小 ②大湊小 ③日章小 ④久礼田小 ⑤長岡小 ⑥国府小